

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告



第57号 2016年2月25日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

高齢者福祉にもっと人とお金を

2月14日(日)午後、葉桜住宅の個人宅で、くぼたみき議員の議会報告会が行われました。小児医療費無料化、ごみ収集、高齢者介護の問題など、これまで取り組んできたことや、現状の報告のあと、参加者の方々と懇談しました。

その中で話題になったのは高齢化が進む中で地域をどう支えていくのか、町として地域を支えていく仕組みが必要ということでした。高齢者が住み慣れた町で暮らし続けるには、交通手段の確保や独居、高齢者世帯を見守り、支えあうための居場所づくりが大きな課題です。これは若い世代を葉山定住につなげる意味でも重要なことです。できない理由をあげ、地域任せにするのではなく、人とお金をかけて早急に手を打つ必要があります。

介護福祉士として福祉の現場をよく知る「みき」さんに更に頑張ってもらいたいという期待を感じました。議会報告会は年数回予定していますが、ご希望があれば伺いますのでお知らせください。

ところで、2015年4月の介護保険制度の改悪で介護報酬が削減されたために、事業所の廃業や深刻な人手不足が起きているのをご存知ですか？ ある社会福祉法人では年約300万円減収になったり、介護労働者の平均賃金は全産業の平均より月額で約10万円も低いとか・・・これが「アベ政治」の実態です。

高齢者福祉を確実に進めるよう具体的に町へ要望するとともに、大企業には減税する一方で国民には増税、社会保障改悪を進める国のやり方を、改めさせなければなりません。

7月の参議院選挙では、私たち国民を苦しめている「アベ政治」自公政権に退場の1票を投じるなど、一人ひとりの行動が大切ですね。

平成28年度、葉山町の展望は

町議会議員 くぼたみき

二期目を迎えた山梨町長の平成28年度予算案が提示され、細部にわたって審査しています。

27年度に引き続き28年度も「健康」をテーマに、色々な取り組みが考えられています。町営の運動施設を持っていないため、町民が、指定された逗子・横須賀市の運動施設利用時の補助金や町民参加のイベントも増えています。参加することで体や脳を動かし「健康」を維持することが介護予防にもつながり様々な波及効果が生まれます。残念ながらイベントに全町民が参加できることは難しく、限られてしまいます。

「特定検診」の受診率を上げることはどの自治体でも課題と思いますが、町は健康をテーマに掲げながら、受診目標は下げています。「実績をもとに出した数値」と町側からの説明でしたが、町としての将来展望が感じられません。町長施政方針には、協働や連携、協力が数多く述べられていますが、数字だけでは表わせないそれに見合った施策が重要で、さらに強めていかなければなりません。

先日行った議会報告会で、貴重なお話を伺うことが出来ました。「地域の中でお互いのことを考え支えあってきた中で、お互いが高齢化し、この先、支えあうことに困難が見えてくる。行政からは直接の『人手』を助けてもらいたい。」と言うものでした。高齢者の集いの会場設置一つとっても人手は必要です。施政方針にある「支援する人とされる人の双方が、顔の見える関係により地域のつながりを実感する。」とは、町民にすべてを丸投げする事ではないはずです。

高齢化率30%を超える葉山、山坂が多く狭い道の多い葉山。年を重ねても安心して暮らし続けられるよう、交通問題や介護問題等解決に向け、みなさんの声を町政に届け、取り組んでいきます。